

電波に関する注意事項 : US300c/US110c 無線 LAN モデルのみ

本製品は、技術基準適合証明を受けています。

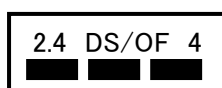
なお本製品は、出荷時期により内蔵している無線 LAN モジュールが異なり、仕様に違いがあります。

- QCOM 製 LR802UKN : 概ね 2013/2 月まで
- SPARKLAN 製 WUBR-507N : 概ね 2013/3 月から

【QCOM 製 LR802UKN の場合】

IEEE802.11n(2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

IEEE802.11n(2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



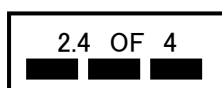
- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器を示す
- DS/OF : DS-SS方式およびOFDM方式を示す
- 4 : 想定される干渉距離が40m以下であることを示す
- : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

【SPARKLAN 製 WUBR-507N の場合】

本無線モジュールは IEEE802.11a、IEEE802.11n(5GHz) の通信が可能ですが、
本製品 (US300c・US110c) では 5GHz 帯域の無線 LAN 通信をサポートしておりません。

IEEE802.11n(2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

IEEE802.11n(2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器を示す
- OF : OFDM方式を示す
- 4 : 想定される干渉距離が40m以下であることを示す
- : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

IEEE802.11a、IEEE802.11n(5GHz) 通信利用時は、5GHz 帯域 (5.15GHz～5.35GHz、5.47GHz～5.725GHz) を使用しており、以下のチャンネルに対応しています。

W52 : Ch36 (5180MHz) , Ch40 (5200MHz) , Ch44 (5220MHz) , Ch48 (5240MHz)

W53 : Ch52 (5260MHz) , Ch56 (5280MHz) , Ch60 (5300MHz) , Ch64 (5320MHz)

W56 : Ch100 (5500MHz) , Ch104 (5520MHz) , Ch108 (5540MHz) , Ch112 (5560MHz) , Ch116 (5580MHz) , Ch120 (5600MHz) , Ch124 (5620MHz) , Ch128 (5640MHz) , Ch132 (5660MHz) , Ch136 (5680MHz) , Ch140 (5700MHz)

IEEE802.11a/n (W52、W53) 無線 LAN の使用は、電波法令により屋内に限定されます。

WirelessLAN (802.11a/b/g/n)			
IEEE802.11b/g/n	IEEE802.11a/n		
2.4 OF 4	J52	W52	W53
		W56	
	注意		
	5GHzワイヤレスLANは、電波法によりW52、W53の帯域については屋内での使用に限定されます。		

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

連絡先： ファーストコンタクトセンター

TEL： 03-3455-5800 （代表）

受付時間： 9:00～12:00 13:00～17:00 月曜日～金曜日（祝日を除く）

※番号をお間違えにならないようお確かめのうえご連絡ください。